

■ 全体講評

● 良い点

| | |
|---|---|
| 1 | <p>高校生バンドにの会議を開催し、自分たちでルールを決め、仲間意識の醸成を図るよう職員は陰から支援している</p> <p>中高生特化型施設で、スタジオや音楽機材の設備を設け、音楽活動に力を入れている。高校生バンドメンバーを集めた会議を開き、スタジオの利用の仕方や音楽機材の使用の仕方などを皆で話し合い、ルール化にし、子どもたちの社会性や自主性を育てている。バンドメンバーの一人がルールを守れなかったときは連帯責任としルールの厳しさを理解すると共に仲間意識の醸成を図っている。年々中高校生の利用者数が増加し、音楽イベントが成功していることから、高校生が自分たちのセンターを守り、センターのイベントを成功させるという意識の高まりが生まれている。中高校生対象の利用者調査では「総合的な感想」に関して、「大変満足」65%、「満足」18.4%で、回答者の83.4%が満足と返答しており、高い満足を得ている。</p> |
| 2 | <p>子育て支援にも力を注ぎ、乳幼児・保護者の活動も工夫し、年々乳幼児利用来館者数が増えている</p> <p>中高生特化型施設ではあるが、午前中からの乳幼児親子の利用者は多く、乳幼児・保護者の活動も工夫している。乳幼児の参加状況や様子を行事記録に書き留め、次回の企画に活かしている。手遊びの時間が長いと乳幼児が飽きるため、手遊びの時間を短縮し、身体を動かせる時間を増やしたり、1歳児のみ対象の身体計測を2歳・3歳児と対象を広げている。また、幼稚園児中心に遊べる曜日を設置するなど、全利用者が平等にセンターを利用できるよう工夫を重ねている。そのため、年々乳幼児利用来館者数が増えている。保護者対象の利用者調査では「総合的な感想」に関して、「大変満足」16.5%、「満足」73.2%で、回答者の89.7%が満足と返答しており、高い満足を得ている。</p> |
| 3 | <p>外部の目を導入し、サービスの質向上につなげている</p> <p>保育所などへの教育研修を行なっている会社に、会社全体で運営上のアドバイザーを依頼しており、そのアドバイザーと会社内他施設職員10～20名が年1回、来所し、センター内を巡回し、改善点についてフィードバックしてもらっている。利用者にとって居心地の良い環境となるよう、掲示物の掲示方法・ポスターの作成・職員の挨拶の仕方・本の並べ方・遊具の設置などについて具体的に指摘してもらっている。また、他センターの評価結果も参考にしながら、センターの運営改善につなげている。</p> |

● 改善点

| | |
|---|--|
| 1 | <p>センター主催で、センターの運営方針や活動実績を地域の方々に伝え、意見交換し、運営改善につなげていくための場の設定を期待したい</p> <p>運営協議会を開催しているが、市主催でセンター側はオブザーバー的な立場で参加している。今後は、当センターの運営方針・活動について、地域の方々に直接伝える場の設定を期待したい。年度初め・年度終了にセンター職員が直接地域の方々にセンターの取り組み目標やその活動実績を伝え、地域の方々からも自由な意見をもらい、運営改善につなげていくことを期待したい。センター主催の運営に関する地域の方々との意見交換の場を設定することで、学校とセンター、地域とセンターの連携がより密になり、地域の子育て拠点としての施設づくりをさらに発展していくと考える。</p> |
| 2 | <p>子どもが自ら考え、自ら行動し、自ら形にする自主性を育むためにも、工作活動など、さらなる工夫を期待したい</p> <p>行事にて児童の自主性が身につくよう取り組んでいる。しかし、造形活動が十分とはいえない。「調理・創作ルーム」を設けているが、テーブルが工作室としては使いづらい。牛乳箱や新聞の折込広告などの廃材を使って、子どもたちは大人顔負けのおもちゃ・玩具を作ることができる。紙・のり・セロハンテープさえあれば、子どもの想像は広がり、子どもはどのような場所でも製作に夢中になるが、はさみなどを使用するので小さくても限られた空間を必要とする。子どもが自ら考え、自ら行動し、自ら形にする自主性を育むためにも、工作活動など、さらなる工夫を期待したい。</p> |
| 3 | <p>当センターの情報が幅広く行き渡るよう、より一層の広報活動を期待したい</p> <p>当センターの土日開館は子を持つ父親にとっても利用しやすく、母親にとってもつかの間の休憩時間になっているようで、地域の中で子育て中の親子に重要な拠点となっている。しかし、近隣保育園に当センターのお便りを配布していない。働く子育て中の保護者にとって、保育園からの情報は子育てに関わる情報源の主軸となっているため、保育園への広報活動が望まれる。また、近隣中学校には全高生にお便りを配布している。毎月15部ほど、近隣の高校にはお便りを送付している。中高校生は、利用者同士の口コミで周知されているが、当センターを必要とする方々に対して、当センターの情報が行き渡るよう、より一層の広報活動を期待したい。</p> |